

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	山崎製パン株式会社	事業所名	埼玉第一工場		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	工場別の燃料購入実績をもとに二酸化炭素排出量を算出	○	○	○
04	積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	同一規格の番重を使用して、積載効率を高めている。	○	○	○
04	積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	反復使用可能な梱包容器を使用している。	○	○	○
04	積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	荷量に応じた車両を設定し配送コースを設定(2t・3t・4t)	○	○	○
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組	二温度帯車両の導入により、チルド製品及び常温製品の混載配送を実施	○	○	○
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	大規模量販店への納品は系列運送会社に委託し、共同配送を実施している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	委託配送業者へのドライバーズマニュアル配布によるエコドライブ推進	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	配送拠点の設定時間を決めて、ルート配送による定時納品を実施している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	一日2回配送から1回配送に変更及び毎日配送から週3回配送への見直し推進	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	出発時間を繰り上げる(ゴールデンウィークや地域の行事ごと)	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	自社業態店舗向けの仕入商品を工場に一括搬入し個店配送実施	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	配送車両の速度のルール化(一般道55Km以下、高速道80Km以下)	○	○	○
11 その他の必要な取組 (02)	全車両にドライブレコーダーを設置し、注意喚起を図っている。	○	○	○